

027

# 短歌創作の実際

【笑いをふくむ歌】

## 講座内容

人間が生きてうたう歌でありたい。たとえ拙くとも、生きてかがやく歌を求めたいと思います。そのための基礎は、良い歌を十分に読み味わうこと。本講座では、テーマ別に秀歌名歌を読み味わい、語彙、語法を学びつつ、実作に生かしていきます。今回は、笑いをふくむ歌について見ていきましょう。笑いはとてもむずかしいテーマですが、老いと笑いとはよく調和します。先人はどんな歌を作ったのか、その詩の深みを味わいつつ、実作の参考にしてみましょう。希望者は毎回実作レポートや鑑賞文を提出することができます。

|     |                |     |                    |
|-----|----------------|-----|--------------------|
| 期 間 | 5月12日～7月14日    | 受講料 | 6,000円             |
| 曜 日 | 月曜日            | 定 員 | 20名                |
| 時 間 | 13:15～14:45    | 会 場 | 横浜・関内キャンパス         |
| 回 数 | 全3回            | 持ち物 | 筆記用具、辞書、作歌ノート、原稿用紙 |
| 教 材 | 講師が毎回資料を用意します。 |     |                    |

## 講座スケジュール

| 回数 | 日 程      | 内 容                                       |
|----|----------|---|
| 1  | 5月12日(月) | 笑いをふくむ歌①<br>古典の歌から、笑いの歌を味わいましょう。実作ポイント。   |
| 2  | 6月 9日(月) | 笑いをふくむ歌②<br>正岡子規の歌から、笑いの歌を味わいましょう。実作ポイント。 |
| 3  | 7月14日(月) | 笑いをふくむ歌③<br>斎藤茂吉の歌から、笑いの歌を味わいましょう。実作ポイント。 |

## 講師紹介



### 阿木津 英(あきつ えい)

現代歌人協会会員 日本文藝家協会会員

一九七四年作歌を始める。第二波フェミニズム興隆の時代を共に歩いてきた。「産むならば世界を産めよもの芽の湧き立つ森のさみどりのなか」(第一歌集『紫木蓮まで・風舌』)。以後、日本語をもってつくる歌という韻文形式の森に分け入って久しい。歌集『天の鴉片』『黄鳥』ほか。評論集『二十一世紀短歌と女の歌』『アララギの釋沼空』ほか。